

miratap

洗面

レプトカウンター

組立設置説明書 02-LEP06S-04

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

禁止 **実行** **注意**
お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



ミラーキャビネットや洗面キャビネットの据付は、壁面の木枠の位置や強度が十分であることを確認して設置説明書通り正しく行ってください。



浴室など高温多湿な場所や、水に浸かる可能性がある床面には設置しないでください。
キャビネットの劣化、電気用品を使用する場合は感電のおそれがあります。



直射日光やストーブ、ヒーターなどの熱を発生するものの近くに設置しないでください。
変色や変形、火災をおこすおそれがあります。



電気工事・給排水工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
火災・感電・漏水の原因になることがあります。



組込まれる電気製品・水栓などについては、各説明書および本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



給水給湯管の接続時に湯水を逆に配管しないでください。
火傷やケガをするおそれがあります。



横引管が逆勾配にならないように取付けてください。
排水能力が悪くなります。



凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください。
配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります。



水道工事後は必ず、給水給湯を行い、配管接続部および給排水各部の水漏れがないことを確認してください。
水漏れ、拡大損害の原因となります。



水道工事などは各市町村の条例に基づいて行ってください。



組立設置完了後は、扉のがたつきやゆるみのないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



排水器具・排水管の取付け、および給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。



組立設置・調整時には必ず保護手袋を着用してください。
ケガをするおそれがあります。

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。また、商品の品質確保のため、搬入は必ず **2人以上** で手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付用下地の位置および寸法（桱木 45mm×100mm 以上の強度のある硬い木材または 12mm 以上の合板）
- 必要な給水給湯管・排水管・電気配線の位置および接続方法

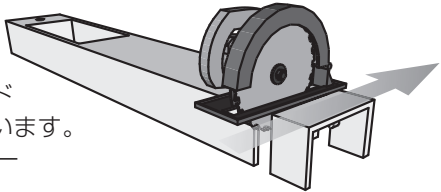


キャビネット・ミラーなどを取付ける取付用下地（桱木 45mm × 100mm 以上または 12mm 以上の合板）が指定どおりに使用されていることを確認してから取付けてください。
（取付用桱木に十分なネジ保持力がないと、使用中に落下し、ケガをするおそれがあります）

3 設置手順

1. カウンターの切断

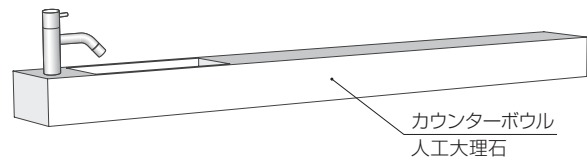
- ※ 必要サイズに合わせ、木工用電動工具でカットしてください。刃物はダイヤモンドカッター（大理石用カッター）が適しています。
- ・鋸歯：ダイヤモンドカッター超硬チップソー
- ・送り速度：2～3m/分



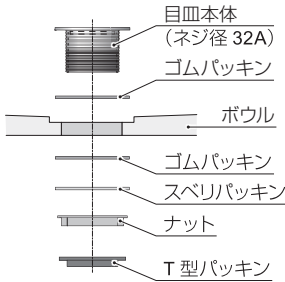
- カウンターの固定が不安定だと切断面に欠けが入る恐れがあります。また切り終わりにも欠けることがありますので、しっかりと固定して切断してください。
- 欠け防止として、切断部への粘着テープ貼り、当て板が有効です。
- ハンド電動工具を使用して切断加工等を行う場合は、電動工具の押さえ金具などによるキズ付き防止として、カウンター面にテープ等を貼って養生してください。
- 加工にあたっては、各工具類の特性を十分ご理解いただき、適切な保護具を着用して、安全な作業を行ってください。

1 各部の名称

◎レプトカウンターボウル



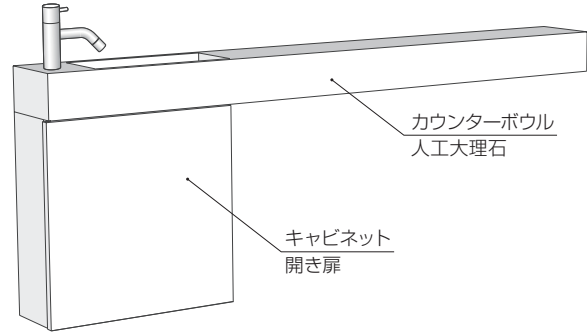
■ 目皿パッキンの取付け手順



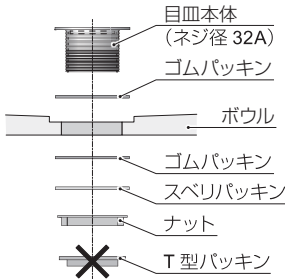
※ 金属トラップの接続

- 金属トラップと目皿の接続部分には、目皿付属の T 型パッキンを使用してください。
- 金属トラップ側のパッキンは使用しないでください。（パッキンがよれて、水漏れの原因となります）

◎レプトカウンター（キャビネット付）



■ 目皿パッキンの取付け手順



※ 樹脂トラップの接続

- 樹脂トラップと目皿の接続には、目皿付属の T 型パッキンを使用しないでください。

■ 付属品

- | | | |
|------------------------------------|------------------------|----------------|
| ・キャビネット取付けネジ | ・コンクリートドリルビット:1本 (M12) | ・六角ナット:4個 |
| ・ユニクロ皿ネジ 5 × 50:4本 (ワッシャー・ネジキャップ付) | ・アンカーボルト:4本 (M10) | ・プラスチックアンカー:4本 |
| | ・丸ワッシャー:4個 | ・ブッシュラッチ本体:1個 |
| | ・スプリングワッシャー:4個 | |

2. カウンターの固定方法

① 下地用胴縁の取付け

- ※ アンカーボルトの取付けピッチに合わせて、下地胴縁を配置してください。

② ボウルの穴加工

- ※ アンカーボルトの取付けピッチは、600mm 以内になるよう任意で位置出しを行ってください。
- ※ アンカーボルトの高さは、ボウル高さ（H100）の中心で合わせてください。
- ※ 付属の M12 コンクリートドリルでボウルに、アンカーボルト用の穴加工（φ12）を行ってください。

③ アンカーボルトの壁固定

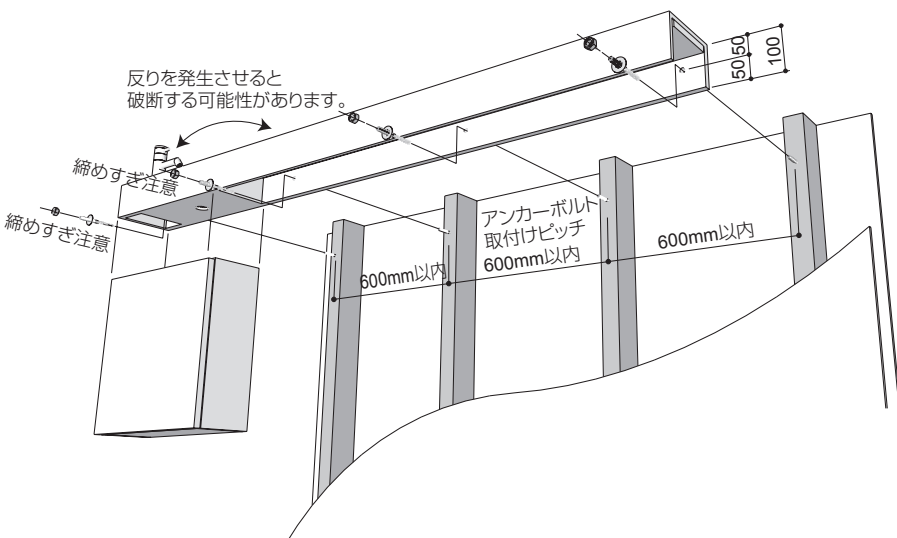
- ※ ドリルで下穴加工を行い、M10 アンカーボルトを壁面に固定してください。
- ※ 締め込むときは、六角ナットを取付け、メガネレンチ等で固定してください。
- ※ 固定後、六角ナットは一旦はずしてください。

④ 水栓の取付け

- ※ 先に水栓をボウルに取付けてください。後付けにすると水栓取付けのスペースが狭いため、固定することが困難になります。

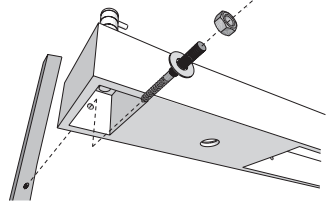
⑤ ボウルの固定

- ※ アンカーボルトを、加工したボウルの穴に差し込んでください。
- ※ 丸ワッシャー・スプリングワッシャー・六角ナットの順で取り付け、締め込んでください。
- ※ 締め込みのバランスは均一に、徐々に締め込んでください。
- ※ 締め込みのバランスが悪いとボウルを破断するので注意してください。



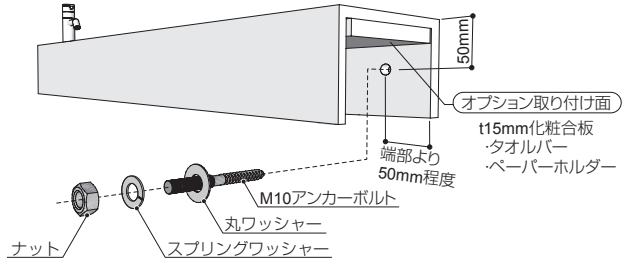
《ボウル側の固定》

- ※ ボウル裏面の水栓用穴から固定してください。



《カウンター端部の固定》

- ※ カウンター端部から 50mm 程度あけてアンカーボルトを固定してください。



- 「壁面がたわんでいる、フラットでない」「ボウルの締め込みバランスが悪い」「必要以上に締め込み過ぎている」などの作業を行うと、長物カウンターにそりを発生させ、強度破壊・破断させる恐れがあるので注意して取り付けください。
- コンクリート下地の場合は、付属のプラスチックアンカーを併用してください。

3. ボウルとキャビネットの固定方法

① 配管・配線の取出し穴加工

- ※ キャビネットの底板点検口または背板に、必要に応じた配管・配線の取出し穴を開けてください。

② ボウルとキャビネットの固定

- ※ ボウルとキャビネットの設置面をシーリング材で接着固定してください。

③ 本体の壁固定

- ※ キャビネットの水平レベルを確認して、壁面へネジで固定してください。

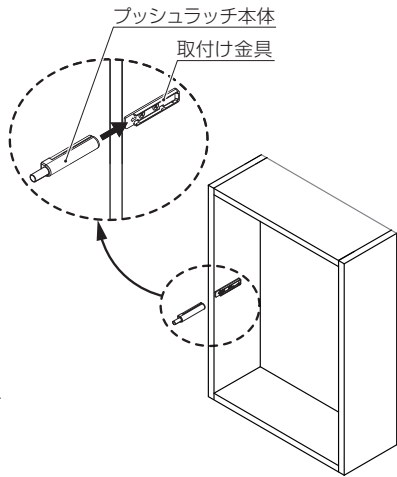
④ プッシュラッチの取付け

- ※ キャビネットの内側側面に付いている取付け金具にカチッと音が鳴るまでプッシュラッチ本体を差し込んでください。

⑤ 排水器具の取付け



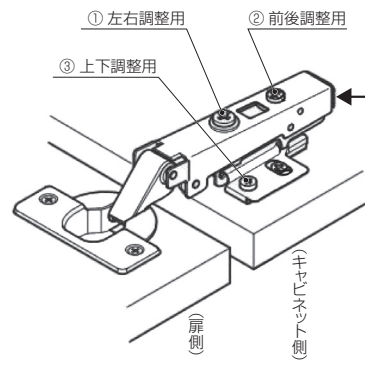
- 必ずキリなどで、下穴を開けてからネジ固定をしてください。
- 壁面がコンクリート、タイルなどの場合、固定用ネジ径に適した市販のプラグを使用してください。
- 壁裏面に木桟等固定下地が無い場合、壁面前に木桟（厚さ 45mm 以上）を取り付けるか、24mm 以上の合板を設けてください。



4 設置後の調整・確認

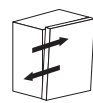
《扉丁番の調整》

微調整が必要な場合は、丁番のネジ①②③をまわして調整してください。



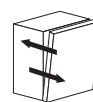
このレバーには触らないでください。扉が外れるおそれがあります。

● 左右調整（扉の目地をそろえる）



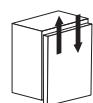
①のネジを右にまわすと外方向に、左にまわすと内方向に動きます。

● 前後調整（扉の前後の傾きを直す）



②のネジを右にまわすと後ろ方向に、左にまわすと前方向に動きます。

● 上下調整（扉の上下の片寄りを直す）



③のネジを回し、扉の上下調整をします。

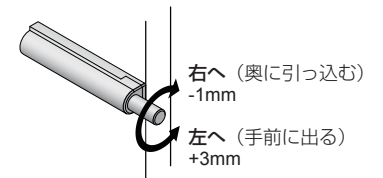
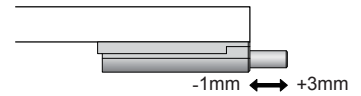


①②③以外のネジは緩めないでください。

《プッシュラッチの調整》

微調整が必要な場合は、プッシュラッチの先端部を引き出した状態で左右にまわして、飛出し代を調整してください。

- 左へまわす：飛出し代が大きくなる（+ 3 mm）
- 右へまわす：飛出し代が小さくなる（- 1 mm）



《設置後の確認》

● 設置状況の再確認

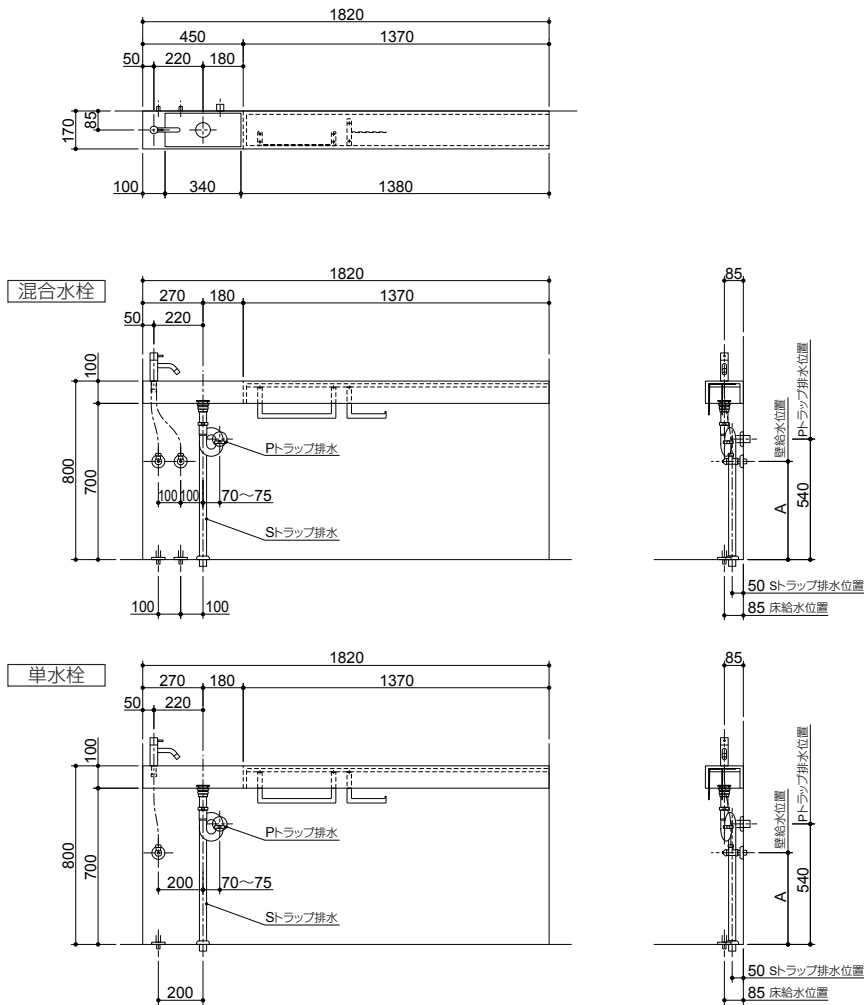
- 扉が確実に取り付けられていることを確認してください。
- 水栓金具・排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
- 必ずボウルと排水トラップ接合部、および給排水接続部の水漏れ検査を行ってください。

● 設置後のクリーニング

- キャビネットや扉のホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

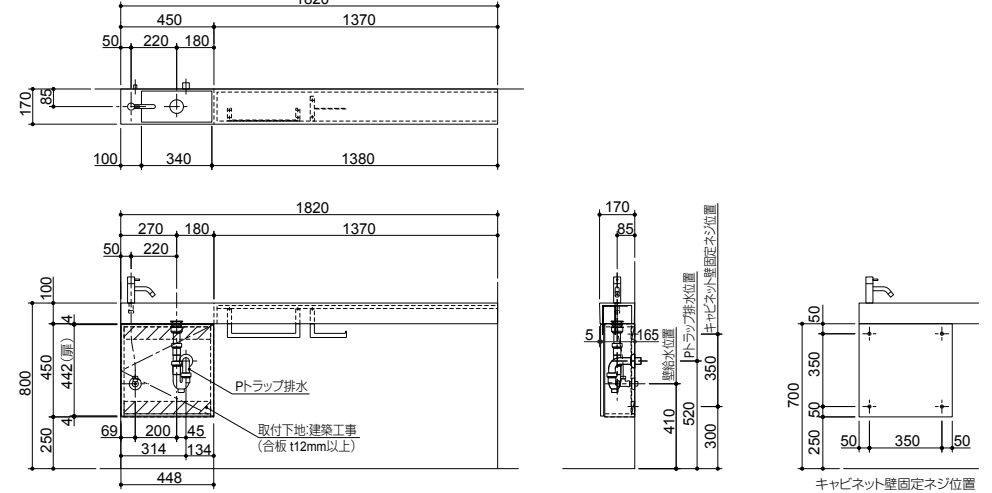
5 給排水位置

《レプトカウンターボウル》※ 金属トラップ

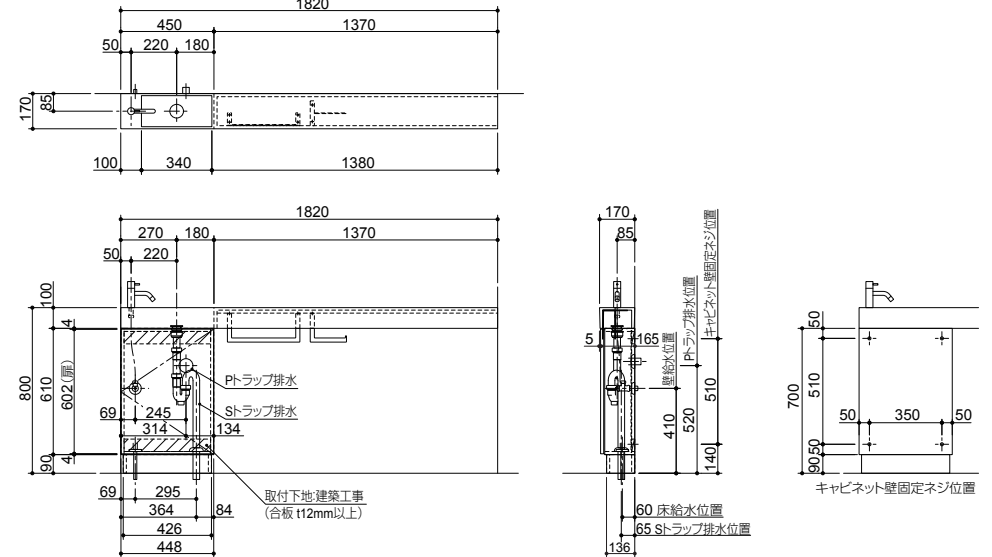


※ 本図は左仕様です。右仕様は左右対称になります。

《レプトカウンター 壁付型》※ 樹脂トラップ



《レプトカウンター 置型》※ 樹脂トラップ



※ キャビネットは「左吊元」「右吊元」共通となっておりますので、現場の状況に合わせて上下反転して施工してください。
※ 壁給水位置 410 はフレキチューブ等（L=350mm）を使用の場合。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

● お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

